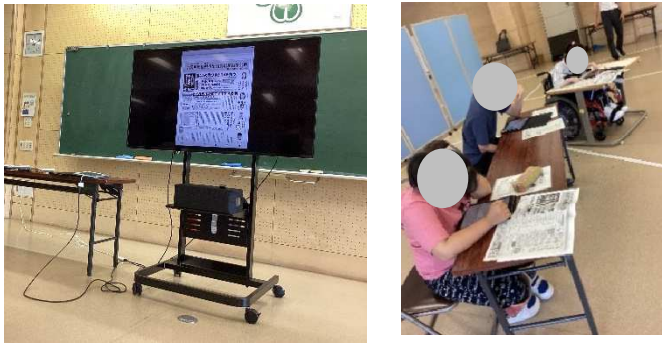


## 教材・支援機器活用実践事例【ICT】

## 必要な情報を収集・活用するための ICT 活用

## 「Ipad を利用しての情報収集・活用について（主権者教育）」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・高等部3年
	障がい名等	肢体不自由
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末を使用することに慣れてきており、調べ学習を行う様子が見られるが、必要な情報を収集して活用する体験が少ない。</li> <li>・選挙の情報を収集する方法がわからず、だれに投票してよいか決めることができない。</li> </ul>
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	主権者教育
	単元(題材)名	単元名「衆議院議員模擬選挙」
	単元(題材)の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1か月後に行われる衆議院議員の選挙について、模擬選挙の形で体験する(選挙管理委員会指導の下実施)</li> <li>・動画などを活用して選挙方法を学習するとともに、立候補者について自分で情報を収集し、投票する立候補者を決め、模擬選挙で投票することができる。</li> </ul>
教材・教具支援機器について	教材・教具支援機器	<p>TVモニターに見本の画面を映し出す。それを見ながら、自分のタブレット端末を操作し、情報を収集する。</p> 
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見本を見ながら、選挙管理委員会のHPを検索し、そこに表示されている選挙公約や、そこにリンクされている立候補者のHPにアクセスして、立候補者の情報を収集し、投票する立候補者を決め、模擬選挙で投票することができる。</li> </ul> <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師のタブレット端末をテレビにつないで画面を表示し、生徒の操作状況を確認しながら、一緒に選挙管理委員会のHPを開き、立候補者についての情報収集方法を伝えることができるようにする。</li> <li>・操作方法に戸惑う様子が見られたときは、個人的に支援を行うが、なるべく自分で操作し、自分で情報収集を行って、投票する立候補者を決めることができるようにする。</li> </ul>
	材料・作成方法等	タブレット端末、TVモニター
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビの画面を見ながら、同じように操作していくことで、選挙の情報収集方法を知ることができた。そして情報収集の楽しさを知るとともに、どの人に投票するかを自分で決め、模擬選挙で投票することができた。</li> <li>・実際の衆議院選挙や、その後の福島県知事の選挙に、自分から進んで選挙に行く様子が見られた。</li> </ul>